

医療経済評価セミナー

Webをチェック

オンライン
配信
セミナー

参加のおすすめ

「おカネとクスリ」、すなわち「医療の費用対効果評価」は、全ての薬がカバーされる状況に半世紀以上慣れ親しんできた日本では、数年前までタブー視されてきました。しかし、近年、とてもよく効き、なおかつ、とても高額なクスリの上市が相次いだことで、議論の風潮は大きく変わりました。

保険政策としては、2012年から中央社会保険医療協議会(中医協)に「費用対効果評価専門部会」が設置され、2016年4月から試行的導入を経て、2019年4月に本格導入されました。

日本の費用対効果・HTAの大きな特徴は「すでに保険適用されている医薬品」に対して費用対効果評価の結果を「価格調整に用いる」ことです。さらに、費用対効果の評価軸である増分費用効果比ICERの数値と価格調整幅を1対1に対応させるという、世界でも類をみない方法をとります。

本セミナーでは、費用対効果評価・HTAについて、基礎的な手法(分析手法の紹介、QoL評価の演習、モデル分析と論文の批判的吟味)からその政策応用の実態(海外・国内での応用法、現状の問題点など)まで、広い範囲を概説します。単なる現状の解説ではなく、「企業として」「医療機関として」「アカデミアとして」どのようにHTAの波に対処していくのかを体感できるセミナーになればと願っています。

東京大学大学院 薬学系研究科 医療政策・公衆衛生学 特任准教授 五十嵐 中

セミナーの特徴

- 薬剤経済学を基礎から勉強できます。
- 医薬品の経済性・効率性を評価し、費用対効果を検証する方法が学べます。
- 講義と実習を交えて、薬剤経済評価の基礎や、コスト算出法、効用値の測定方法など、薬剤経済学の基礎が学べます。
- WHOの教育コースなども参考とした内容となっています。
- 2025年度 第20回「薬剤疫学セミナー」の参加者は特別料金で参加ができます。

カリキュラム(2日間)

日程	時間	講義内容	講師(敬称略)
第1日 12月9日(水)	9:30~12:30	薬剤経済評価の基礎	五十嵐 中
	13:30~14:40	【演習】QoL値の測定方法	五十嵐 中
	14:50~16:20	QoL値の測定	五十嵐 中
	16:30~17:30	【講義・演習】モデルを使った経済評価	五十嵐 中
第2日 12月10日(木)	9:30~11:30	費用対効果評価の政策応用—本格導入を迎えた日本の動向—	池田 俊也
	12:30~13:30	コストの算出方法と課題	五十嵐 中
	13:40~15:30	費用対効果評価の政策応用—諸外国の動向—	五十嵐 中
	15:40~16:30	経済評価論文の読み方	五十嵐 中

カリキュラムは都合により、予告なく変更になる場合がございます。2025.11.7

指導講師(順不動・敬称略)

五十嵐 中 東京大学大学院 薬学系研究科 医療政策・公衆衛生学 特任准教授

池田 俊也 国際医療福祉大学 医学部 公衆衛生学 教授

開催日程

2026年12月9日~10日(2日間)

参加費(税込)

一般 74,800円
賛助会員 66,000円

※2026年度開催 第21回「薬剤疫学セミナー」参加者の方も賛助会員料金となります。